

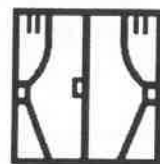
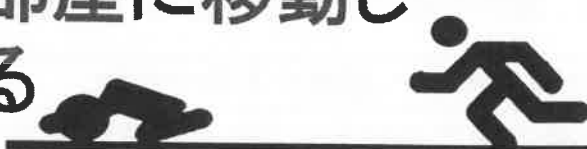
# 弾道ミサイル発射時の行動について

～爆風や破片などによる被害を避けるために～

「Jアラート」を活用したメッセージが流れたら  
落ち着いて、直ちに行動してください

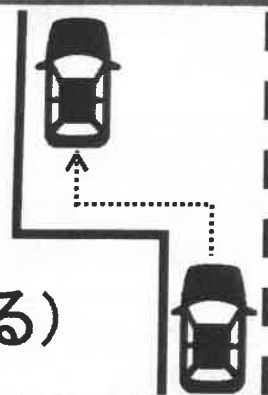
＜屋内にいる場合＞

できるだけ窓から離れるか  
窓のない部屋に移動し  
頭部を守る



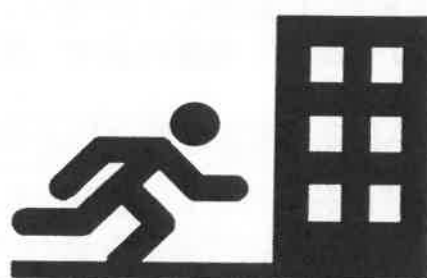
＜車に乗っている場合＞

車を安全な場所に止め  
近くの建物に避難する  
(または、車内で姿勢を低くする)



＜屋外にいる場合＞

速やかに近くの  
建物(頑丈)  
に避難する



＜屋外にいて、近くに建物がない場合＞

物陰に身を隠すか  
地面に伏せて  
頭部を守る



# Q&A

Q1. ミサイルは発射から何分くらいで日本に飛んでくるのでしょうか。

A1. 北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する場合、極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。

例えば、平成29年9月15日に北朝鮮西岸のスナン付近から発射された弾道ミサイルは、約10分後に、北海道地方を通過後、襟裳岬の東約2,200kmの太平洋上に落下しています。

なお、●●海に落下したとの情報伝達があった場合は、引き続き避難をさせていただく必要はありませんが、もし、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、すぐに警察、消防や海上保安庁に連絡してください。

Q2. なぜ頑丈な建物や地下へ避難するのですか。

A2. ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには屋内(できれば頑丈な建物)や地下(地下街、地下駅舎などの地下施設)への避難が有効だからです。

Q3. 建物内に避難してから気を付けることはありますか。

A3. 爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q4. 弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合はどうすればよいですか。

A4. 車は燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。

車を安全な場所に止めて、近くの建物(頑丈)や地下(地下街、地下駅舎などの地下施設)に避難してください。周囲に避難できる建物や地下施設がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。

Q5. 車から出ると危険な場合はどうしたらよいですか。

A5. 高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機してください。

## 福島県

平成29年9月

～問い合わせ先～

福島県 危機管理課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

電話 024-521-8651

Eメール [kikikanri@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kikikanri@pref.fukushima.lg.jp)

検索

福島県 危機管理課